

令和4年第2回岡崎市社会教育審議会会議録

日 時	令和4年7月6日(水)	午後2時～午後3時
会 場	福祉会館2階202号室	
出席委員	野 田 光 宏	(元岡崎市立中学校長) 会長
	増 澤 徹	(元岡崎市立小学校長) 副会長
	石 川 基 司	(岡崎市私立幼稚園協会会長)
	横 山 忠 男	(岡崎市PTA連絡協議会顧問)
	大河内 廣 之	(岡崎市学区社会教育委員長連絡協議会会長)
	加 納 寛 樹	(岡崎市子ども会育成者連絡協議会会長)
	荻 野 嘉 美	(千万町・木下ふるさとづくり委員会委員長)
	福 田 貴 子	(社会教育指導員)
	葉 山 栄 子	(名古屋学芸大学非常勤講師)
	浅 岡 悦 子	(市民公募)
	成 瀬 眞佐子	(市民公募)
事 務 局	社会教育課	福澤課長、鈴木副課長
	社会教育係	内田係長、渡邊

- 議 事
- 1 あいさつ
 - 2 議題
 - (1) 社会教育関係団体への補助金について
 - (2) 社会教育審議会における今後の活動について
 - (3) コロナ禍後の社会教育について

議 事 録

- (1) 社会教育関係団体への補助金について
 - ・社会教育関係団体への補助金について、事務局から説明。
前年度の状況と比較すると3つの変更、2つの増額、2つの減額があった。
 - ・学区社会教育事業費補助金と地域市民スポーツ振興費補助金については、例年実績値が入っていたが、他の補助金と合わせて予算額に変更した。毎年度、人口の増減による調整は行っているが、算定基準等に変更はなし。
 - ・学区敬老会運営事業費補助金については、75才以上の高齢者人口が増えたため、35万2千円増額となった。
 - ・PTA連絡協議会事業費補助金については、補助上限額の引き上げにより23万8千円増額となった。
 - ・私立幼稚園PTA連絡協議会補助金については、2年間事業が実施できていないこと

から、補助上限額の引き下げにより 3 万減額となった。

- ・男女共同参画団体活動事業費補助金については、補助金の手引きの改正に伴い団体名が変更しているが、名称のみの変更となり、内容について変更はなし。
- ・子ども会事業費補助金については、子ども会加入者の減員により、安全共済会保険料を会員数の実績にあわせて、24 万円減額となった。
- ・地域協働推進事業費補助金については、現状に合わせた団体名に変更した。

(2) 社会教育審議会における今後の活動について

- ・社会教育審議会における今後の活動について、事務局から説明。
- ・3 年ぶりに県社連及び西三河支部総会が開催。10 月には、東海北陸社会教育研究大会愛知大会が予定されている。県より 2 日間の参加動員が来ているので、できるだけ参加をお願いしたい。
- ・例年、秋頃に視察研修会を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていない。今年も現段階では見通しが立っておらず、今年度も中止。
- ・市長・教育委員・事務局との懇談会も 2 年間開催できず、今年度も中止となる可能性もある。

(3) コロナ禍後の社会教育について

- ・コロナ禍後の社会教育について、事務局から説明。
- ・第 1 回審議会でも社会教育審議会の活動についてご意見を伺ってきたが、引続き協議及び検討を考えている。時間の経過とともに、各学区の行事運営において役員の入替わりによってノウハウが失われてしまったなど、再開の不安を感じているとの声もある。
- ・「コロナ禍における人や地域のつながり不足をどう立て直すか」というテーマにおいて任意で意見提出いただいたまとめ資料を配布。
- ・文部科学省による地域学校協働活動のパンフレットを配付。
各地域で幅広い地域住民等の参画による地域学校協働本部を設置し、地域全体で子どもたちを支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、学校と地域がパートナーとして連携・協働する事業の「地域学校協働活動」を、本市で取入れられないかを模索中。

- ・次回審議会は令和 5 年 1 月 31 日（火）午後 2 時 開催予定